



ロンドン事務所

海外自治体幹部交流協力セミナー報告会を開催

クレアロンドン事務所は3月6日、ロンドンから海外自治体幹部交流協力セミナーに参加した英国自治体関係者による報告会を開催しました。同セミナーは日英両国の自治体間の相互理解を深めるため、海外自治体の幹部職員等を日本に約1週間招へいし、日本の地方自治体の取り組みや現状の視察と意見交換を行う事業で、視察先の地方自治体による協力のもと、今年1月に英国から8人の参加者が三重県津市などを訪問し、バイオマスや風力発電施設、リサイクル施設などで、地域の環境保全や雇用創出の取り組みを視察しました。

報告会は、これまでのセミナー参加者や今後参加を希望する自治体関係者など約50人が出席し、英国の行政関係者の視点から日本の地域の魅力について語っていただく貴重な機会となりました。今年度のセミナー参加者によるパネルディスカッションでは、「日本に行くまでは、遠く離れた国なので、まったく違う課題を持ち、まったく違うアプローチをしていると思ったが、そうではなく、高齢化社会や若者の都市への流出など同じ課題を持っていることが分かった」など、イギリスと日本の共通点を学んだ参加者が多く見られました。

また、当事務所ではセミナー参加者の協力のもと、日本の地方自治体からの調査依頼や活動支援に対応することも多いため、参加者との関係強化のため、ネットワーキングレセプションも開催しました。



2019年度セミナー参加者によるパネルディスカッション



2017年度セミナー参加者によるスピーチ



シンガポール事務所

インドの学生が生け花に触れる

2月22日にインドのデリーにあるデリー大学 Daulat Ram Collage において、JETAA インド支部主催で「生け花ワークショップ」が開催され、同学校で日本語を学習している生徒が約50人参加しました。

現地の生け花学校の講師から生け花に関する説明および実演が行われた後、生徒は実際に生け花の体験をしました。一部の生徒は緊張した面持ちでしたが、試行錯誤しながら、思い思いに花を生けていました。

JETAA インド支部は、本格的に今年度から活動を開始しており、このような日本文化のイベント開催は、昨年10月に開催された浴衣ワークショップに続いて2回目となります。

クレアシンガポール当事務所で所管しているASEAN10か国、インド、スリランカのうち、インドの他にもシンガポール、フィリピン、インドネシアにおいて元JET参加者の同窓会組織であるJETAAが組織され、日本と各国とのさまざまな交流を進めています。引き続き各国のJETAA支部の活動を支援していきます。



生け花を体験する学生たち



記念撮影の様子



ニューヨーク事務所

天皇誕生日レセプションにて各地の日本酒を紹介

2月27日に在ニューヨーク日本国総領事・大使公邸で令和初となる天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。政財界や外交関係者、日系機関などから300人以上が参加した祝賀会となりました。公邸入口には見事な生け花が展示されたほか、会場では神奈川県、福島県、茨城県、そして長野県から日本酒が振る舞われました。山野内大使の挨拶では、東京都とニューヨーク市の姉妹都市提携60周年という節目の年でもあることについて触れられ、1860年に江戸幕府の万延元年遣米使節団が米国を訪問して以来160年ぶりの日本パレードを、今年度実施予定イベント Japan Day に合わせて開催する意義を強調されました。



各地の日本酒を含むドリンクが振る舞われた

歴史を切り口に大学で地方の魅力を講演

3月3日、ニュージャージー州にあるウィリアムパターソン大学で、同大学の学生を対象に神戸市から派遣されているクレアニューヨーク事務所職員が「Kobe through history」と題し、講演を行いました。講演では、神戸港開港の経緯に触れ、開港後どのように神戸独自の文化を醸成し、国際都市神戸として発展を遂げてきたのかを紹介するほか、神戸が誇る神戸牛、日本酒、有馬温泉などについて、それぞれの歴史とともに紹介しました。講演後は神戸に関するもののみならず、幅広い質問が上がりましたが、学生は関東と関西の方言の違いや、アメリカと神戸のつながりなどについて強い興味を抱いているようでした。



プレゼンテーションの様子



シドニー事務所

鹿児島市・パース市姉妹都市盟約45周年記念行事

1月14日から15日にかけて、鹿児島市の森博幸市長ら訪問団一行が、鹿児島市の姉妹都市である西オーストラリア州のパース市で開催された姉妹都市盟約45周年記念行事に参加しました。さらに、パース市内にあるカゴシマパークで、45周年記念植樹を、森市長、パース市のアンドリュー・ハモンド委員長、バーズウッド公園委員会のビンディー・ゴーフ委員が行いました。

両市は、これまでの長い友好の歴史の中で、学校交流を中心に絆を深めてきました。鹿児島市のメインストリートは、パース州りと名付けられ、また、カゴシマパークでは、これまでの周年行事の際に植えられた樹が大切に育てられています。

鹿児島市とパース市の姉妹都市交流の歴史に新たな1ページが刻まれました。クレアシドニー事務所では、これからさらに長い歴史を刻もうとしている両市の姉妹都市交流を、引き続き支援していきます。



カゴシマパークでの記念植樹の様子。右からハモンド委員長、森市長、ゴーフ委員



オーストラリア姉妹都市協会から45周年証書を授与された後の記念撮影の様子



パリ事務所

美食の都仏リヨンで日本の自治体を PR

2月17日、在リヨン日本国領事事務所主催天皇誕生日祝賀レセプションが開催され、クレアパリ事務所がブースを出展し日本の自治体をPRしました。また、州内のリヨン市と姉妹都市の横浜市やグルノーブル市と交流するつくば市も出展したほか、リヨン周辺に拠点を置く事業者らも多数参加し、共にこのレセプションを盛り上げました。



クレアブースを訪れたコロリオン市長（中左）・玉井横浜市欧州事務所長（中右）

レセプションには約300人の日仏来賓が出席、クレアパリのブースでは多くの方が自分の興味を引いた自治体のパンフレットを手に取り、現地の特産品やおすすめの訪問先などについての説明を聞いていました。挨拶に立ったジェラルド・コロリオン市長からも、美食の街リヨンと日本との関わりが紹介されるなど、改めてリヨンにおいても日本の地域への関心の高さをうかがうことができました。



クレアパリ職員の説明を聞く参加者



経済交流課

日本ふるさと名産食品展 in ニューヨークの出展者を募集します！

クレアでは、地方自治体が行う地域産品の海外販路開拓を支援するため、健康意識の高まりから日本食への注目が集まっている米国ニューヨークにおいて、「日本ふるさと名産食品展 in ニューヨーク」を開催します。ご出展いただける事業者を募集しますので、ぜひご検討ください。

■概要

1. 開催日程 2020年11月19日（木）～22日（日）
（新型コロナウイルス感染症流行の終息状況により変更の可能性があります）
2. 開催場所 アメリカ・ニューヨーク「Sunrise Mart Japan Village」
3. 主催 一般財団法人自治体国際化協会
4. 出展内容 原則、日本国内で製造され、正規の輸出入手続きにより納入された地場の食品および飲料品（酒類は不可）
5. 出展対象 都道府県・政令指定都市を通して出展する事業者等
6. 開催規模 20事業者程度（100商品程度）
7. 販売方法 委託販売／買取販売
8. 実施方法 委託実施（運営委託会社：日本食文化振興協会）
9. 締切 2020年7月17日（金）
（新型コロナウイルス感染症流行の終息状況により延長の可能性があります）

※応募方法・過去の実績は下記ホームページに掲載しております。

<http://economy.clair.or.jp/activity/exhibition/>

■お問い合わせ 経済交流課

Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



賑わう食品展会場（2019年度実施の様子）

JET プログラム事業部

予約なしで利用可能なメンタルヘルス相談フリーダイヤルを3回線新たに設置

JET プログラム参加者からのメンタルヘルス相談は、利用者数が年々増加傾向にあります。クレアでは、2019 年度まで JET プログラム参加者へスカイプおよびメールのカウンセリングを行っていました。しかし、スカイプのカウンセリングは予約が必須であるため手間と時間がかかり、メールでのカウンセリングは即座にアドバイスを受けることができないという課題がありました。

そこで 2020 年度からは、メンタルに問題を抱える JET プログラム参加者がよりカウンセリングを受けやすい環境を作るため、現在のスカイプおよびメール相談に加え、月に 1 回（毎月第 3 水曜日 17:30～21:00）、予約なしで利用できる専用のフリーダイヤルを 3 回線新たに設置します。4 月上旬にクレアからこの件について案内していますので、任用団体の担当者様には JET プログラム参加者への周知をお願いします。

フリーダイヤル 0120-810-803（毎月第 3 水曜日 17:30～21:00）

交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナー（シドニー事務所管内）を実施しました！

2 月 3 日から 12 日までの 10 日間、東京都と宮崎県都城市においてオーストラリア・ニュージーランドの自治体や関係団体の幹部 5 人を迎え、セミナーを開催しました。

東京都では、宮崎県物産貿易振興センターや宮崎県アンテナショップ KONNE を訪問して、宮崎県の物産振興等について講義を受けました。都城市では、「基幹産業（第一次産業等）を生かしたまちづくり～地場産業振興の取り組み～」というテーマに基づき、都城市のふるさと納税制度の活用やインバウンドの取り組みについて説明を受け、栗山ノーサンや霧島酒造等といった返礼品を提供している企業を訪問しました。また、オーストラリアやニュージーランドとの共通課題であるゴミ処理について都城市クリーンセンターも視察しました。さらに、日本文化体験としてホームステイや、太鼓体験、獅子舞鑑賞や餅つき、日本旅館での宿泊などを行いました。

セミナーの参加者は、ふるさと納税制度およびその制度のメリットについて学ぶことで大いに見識を深めることができました。また、受入自治体にとっても参加者との活発な意見交換を通じてお互いに気づくことの多い機会となったと思います。



霧島酒造で焼酎用の水を試飲



意見交換会で感想を述べる参加者

多文化共生課

地域国際化推進アドバイザー派遣制度

～多文化共生に関する研修会や講演会の開催をクレアがお手伝いします～

クレアでは、多文化共生や国際協力分野で専門的な知識や経験を有する有識者などを「地域国際化推進アドバイザー」として登録し、多文化共生または国際協力推進のための研修会や講演会、ワークショップなどを実施する自治体や地域国際化協会などに派遣しています。

2019 年度は、74 件の派遣を実施し、多文化共生の概論、災害時の外国人支援、やさしい日本語などの色々な分野で助言やノウハウの提供を行いました。2020 年度からは「災害時の外国人支援」に加え、「やさしい日本語」に関する派遣も毎年 1 回利用できるようになります（その他の分野は 2 年に 1 回）。まだアドバイザー派遣制度をご活用いただいたことがない団体の方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

◆派遣対象団体

- ・地方公共団体 ・地域国際化協会 ・市区町村の国際交流協会 等

◆クレアが負担する費用

- ・アドバイザーの往復交通費および日当
- ・アドバイザーの謝礼金（ただし、支払い対象時間は 4 時間以内）

アドバイザーや派遣実績の詳細などについては、クレアの多文化共生課のホームページをご覧ください。

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/index.html>



地域国際化推進アドバイザーによる「やさしい日本語」のセミナー（岡山市）